

# 日本基礎心理学会公開シンポジウム

平成21年度文部科学省科学研究費補助金(研究成果公開促進費)「研究成果公開発表(B)」補助事業

## 「こころ」のサイエンス

### 心理学が解き明かす心のしくみ



「赤門は模型か本物か?!」

挨拶：佐藤 隆夫 (東京大学)  
「基礎心理学の面白さと奥深さ」

心理学とはどんな学問なのでしょう。おそらく多くの人々にとっては、心理学というとTVや雑誌に登場してくる性格診断やフロイトの精神分析学、身近などではスクールカウンセラーの先生のお仕事を思いおこすかもしれませんね。もちろん、このような分野も心理学の一部ではありますが、それらはほんの一部分なのです。

心理学は人間や動物の行動を科学的に研究することで「こころ」を理解しようとしてきました。そこで基礎心理学の立場から「こころ」の問題の解明に当たっている研究者が、実験を主とした実証的な研究によって、「こころ」のどのような側面を、どのようにして解き明かしていくことができるのか、基礎研究の面白さについて、自らの研究を糸口として語ってもらう企画をいたしました。

あわせて、パネルによる展示、参加実験などにより心理学の諸現象を体験できる場を設けています。

心理学って本当はどんな学問なんだろうと考えている方、お誘い合わせの上、参加してください。大学で心理学を学んでみたい高校生を主な対象としますが、中学生や大学生、社会人の方も歓迎いたします。

勿論、入場は無料です。

講演：三浦 佳世 (九州大学)  
「見ること・感じることを考える—知覚と感性の心理学」

見ること・感じることは自分を認識する出発点であり、世界を知る入り口です。

でも、どのようにして、私たちはものを見たり、感じたり、それを誰かと共有したりすることができるのでしょうか？

芸術家は優れた感性と表現を通して、私たちに見ることや感じることの仕組みや特徴を伝えてくれます。絵画や写真を楽しみながら、知覚や感性、意識や無意識について考えてみましょう。

講演：友永 雅己 (京都大学霊長類研究所)  
「チンパンジーからヒトを見る—こころの進化を探る心理学」

私たち人間のこころはからだと同じく「進化」という悠久の時間の中で獲得されてきたものです。私たち人間はチンパンジーと同じ霊長類です。チンパンジーとは約5-600万年前に彼らとの共通祖先と枝分かれしました。「私たちのこころはなぜこのようなものになったのか」。この問いに答えるのも心理学の役目です。

チンパンジーのこころを通してヒトのこころの来し方と行く末を考えてみましょう。

体験・交流セッション

講演と合わせて、あなたの知覚と感性を試す心理学基礎実験をいろいろ用意してあります。(法文1号館内にて)

## 2009.10.10

(土) 14:00-18:00 (13:30開場)

東京大学本郷キャンパス  
工学部2号館213番教室

〒113-0033 文京区本郷 7-3-1

大江戸線・丸の内線 本郷三丁目駅より徒歩8分

参加申込

興味があればまずは電子メール(kisoshin-post@bunken.co.jp)にてお申し込みを、申し込んでいなくても当日の参加もOKです、ぜひお友達も誘ってください。

電子メールでお申し込みの方は、住所・氏名・所属名(勤務先、在学学校名)を明記してください。事前に電子メールにてお申し込みの方には、先着100名様に当日、記念品「新作・驚き錯視図」を贈呈いたします。

入場無料

主催 日本基礎心理学会  
協力 東京大学・慶應義塾大学・専修大学・千葉大学・立教大学・九州大学・東北大学  
連絡先 日本基礎心理学会事務センター  
〒169-0075 新宿区高田馬場4-4-19  
(株) 国際文献印刷社内  
✉ kisoshin-post@bunken.co.jp  
☎ 03-5389-6239 ☎ 03-3368-2822

